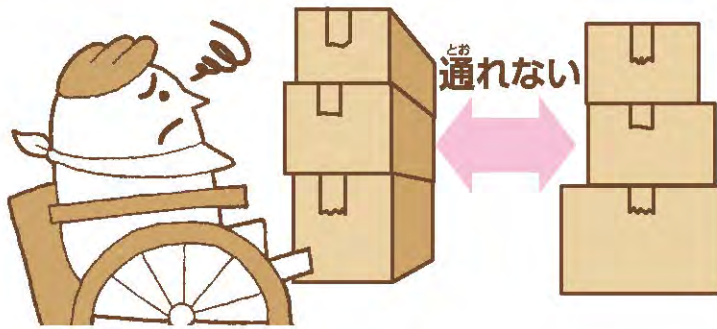


# 障害に合わせた合理的な配慮の例

## 肢体不自由

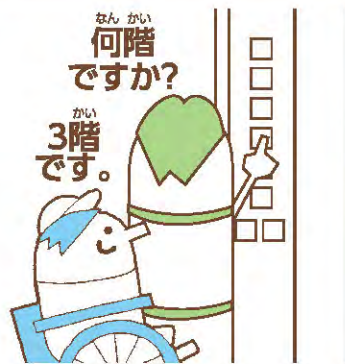
廊下などの歩行空間には、通行に支障をきたす物を置かないようにする。



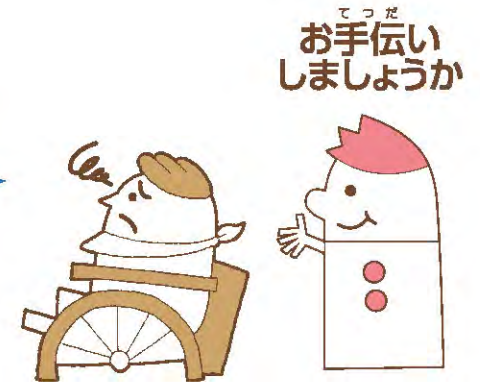
手が届かない場所にある物を取る。



ボタンを代わりに押す。



「お手伝いしましょうか?」と必ず一声かけてから介助する。



トイレをバリアフリー化することやオストメイト対応トイレを設置する。

車いすで利用しやすい高さの机を用意する。

